

令和4年度 中津川小学校グランドデザイン

霧島市立中津川小学校

日本国憲法 教育基本法 学習指導要領 鹿児島県教育振興基本計画 霧島市教育振興基本計画

霧島市基本目標 夢を描き 高い志をもって学び続け、共に輝く未来を創る 心豊かな人づくり

- 【課題】**
- あいさつ、返事
 - 自ら考え行動する
 - 学力の底上げ
 - 児童の確保

学校教育目標

生きる力を備えた ひとみ輝く 中津川の子を育てる

- 【保護者の願い】**
- 人に感謝できる
 - 思いやりがある
 - 友達を大切にしている
 - あいさつや返事ができる
 - 個性がある
 - 人に迷惑をかけない

キャッチフレーズ

挨拶があふれ 夢にあふれ 笑顔あふれる学校

- めざす学校像**
- 教科等指導、生徒指導、学級経営など、全教育活動を通じて、人権尊重の精神に立った学校
 - 安心・安全な学校
 - 保護者や地域の声に応える学校
 - 開かれた学校
 - ・ 社会に開かれた教育課程
 - ・ 家庭・地域の素材・人材を生かす学校
 - ・ 学校評価の活用
 - 特色ある学校
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（個別最適な学び、協働的な学び）
 - ・ 過小規模、複式学級の強みを生かした教育活動

- めざす教師像**
- 人権尊重の理念を正しく理解し、自らの人権意識の高揚を図る教師
 - あたたかく、使命感にあふれ、信頼・尊敬される教師（人間性、職責感と覚悟）
 - いつまでも学び続ける教師（授業力の創造）
 - 児童を認め・褒め・励まし、伸ばすことができる教師
 - 教育公務員としてのサービスを自覚し、服務に厳正な教師（教育公務員としての自覚）

めざす子供像

なかよく	かしこく	たくましく
心豊かで思いやりのある子	自ら課題を見つけ、学び、考えることができる子	気力、体力に富み粘り強い子
<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見や考えをわかりやすく相手に伝えることができる。 ○相手のことを考えた行動ができる。 ○相手の意見や考えを聞くことができる。 ○ルールや約束を守ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な内容を身につける。 ○主体的に学ぶことができる。 ○課題を明らかにし、目標や見通しを立てて考えることができる。 ○解決に必要な情報を収集・分析・整理し、確実に行動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで運動に取り組むことができる。 ○健康や安全について考え行動できる。 ○相手を意識して元気よくあいさつができる。 ○苦手なことにも粘り強く努力できる。

<p>子供が学習に集中できる環境づくりと「分かった」「できた」を実感する小規模校の強みを生かした授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の学力の定着→教科書の練習問題・ドリルの繰り返しと解説 ○学ぶ意欲と思考力・判断力・表現力の育成 <ul style="list-style-type: none"> →教科書・過去問・WEB問題の繰り返しと解説 →新聞への投稿（若い目・子供のうた）、天声こども語の活用（要約、要旨の練習） ○複式指導の充実（ガイド・フォロワーの育成）→ガイド学習の手引きの活用と学期毎の振り返り ○学習指導法の改善・充実→複式指導でICTを使った効果的な授業の試行・改善 ○ICTの活用→個人タブレット毎日活用
<p>子供に「夢・志」をもたせる教育活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の充実→キャリアパスポートの有効活用 毎学期ごとの振り返り ○生徒指導の充実→全校体制でのあいさつ指導（相手を意識した元気のあるあいさつ） ○心の教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> →考え議論する道徳教育の充実（命を大切にしている心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身につける） →学校いじめ防止基本方針に基づく指導の徹底 ○安全教育・健康教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> →校区通学路・校内の点検（毎月）、危険箇所マップの見直し 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを踏まえた学校の感染症対策の実施（手洗い・うがい・消毒・3密回避） KYTの育成（写真等の活用） ○教科体育指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> →体力運動能力調査結果を生かした授業、チャレンジかごしまへの取組（月1報告） ○望ましい学習習慣の育成→家庭教育の手引きの活用 ○魅力ある学校づくりの推進（年3回アンケートの実施）→見直し・改善
<p>特色ある開かれた学校づくりと教育環境整備の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○特色を生かした郷土教育、地域との交流、集合学習、ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> →体験だけで終わらない授業（発表、まとめる、作文、絵、ICTの活用 など） ○特別支援教育の充実（個別の支援計画の作成、ユニバーサルデザインの共通理解） ○家庭・地域との連携（PTA活動の工夫・改善、地域行事への協力・参加、基本的な生活習慣） ○学校評価・説明責任（学校評議員会・信頼される学校づくり委員会、HPの充実） <ul style="list-style-type: none"> →PDCAサイクルでの見直し・改善 ○特認校制度、山村留学の推進 <ul style="list-style-type: none"> →ポスター作成、配布 HPの作成 ○施設設備、教材備品等の充実 ○教育環境・校舎内の整備（花いっぱいコンクール、花管理）
<p>教職員の資質能力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○研修の充実（学校研究テーマ、個人テーマ、地区教育論文の応募、個人ファイルの作成） <ul style="list-style-type: none"> →令和4年度 複式学習におけるICTの活用（毎学期ごとの見直し、情報交換） ○業務改善と校務分掌の機能化（業務改善アクションプランの確認、業務改善が実感できた職員80%以上）→放課後の見直し、フォルダ作成、複式時間割の活用 ○適正な人事管理事務の推進（教職員人事評価制度の適正かつ計画的な実施） ○服務規律の厳正確保（法令遵守）→県通知文、県の服務指導資料の活用（毎月） ○安全衛生委員会の充実（毎月）